



世界銀行東京事務所ニュースレター

2023 年（令和 5 年）3 月号



WorldBankTokyo



@worldbanktokyo

最近の動き

マルパス 総裁の退任表明（2/15）

マルパス総裁は、理事会の席上、本年 6 月末退任の意向を表明しました。総裁は、「世界を代表する開発機関の総裁として、優秀なスタッフと働けたことは名誉なことで、光栄です。課題山積の中、オペレーションの有効性を高めるべく、日々、スタッフや理事会と協働できたことに厚くお礼を申し上げる」旨のコメントを発表しました。

G20 財務大臣・中央銀行総裁会議（2/24-25）

マルパス総裁は、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議（於：インド・ベンガルール）に出席しました。債務、気候変動、デジタル決済、国際保健など、様々な課題の議論に参画した他、インド財務大臣・IMF 専務理事と共に、債務に関する円卓会議の共同議長を務めました。



MIGA（多数国間投資保証機関：侯野長官）ウクライナ支援で日本と連携

G20 と共に開催された G7 財務大臣・中央銀行総裁会議では、MIGA（ミガ）によるウクライナ復興・経済支援（SURE）信託基金の新設が歓迎され、日本政府より、最初のドナーとして 2,300 万ドル（約 30 億円）の拠出表明がありました。ウクライナ支援には民間資金の動員が不可欠です。MIGA は、危機下での貿易金融、金融機関準備金に対する保証、戦後復興支援に資する政治リスク保険等の提供を通じ、民間資金の動員を通じたウクライナ支援に貢献してまいります。



3 月 15 日（水）：国際シンポジウム@広島「復興から成長へ：広島の経験に学ぶ、ウクライナ・東欧・中央アジア諸国との対話」

広島市・世界銀行（TDLC：東京開発ラーニングセンター）の主催により、「国際シンポジウム 復興から成長へ：広島の経験に学ぶ～広島とウクライナ・東欧・中央アジア諸国の対話～」を開催します（後援：財務省・広島県・広島商工会議所・中国新聞社）。広島ウインドオーケストラ・平和を運ぶ合唱団の参加も得て、映像と音楽で広島の復興を振り返りつつ、復興から成長への道のりを議論します。皆さまのご参加をお待ちします（QR コードからご登録下さい）。



「高齢化社会に見出す機会：統合された人間中心の高齢者ケアの構築レポート」 (2/27)

東京事務所では、ワシントンなどの本部部局からスタッフを招き、また、財務省・厚生労働省スタッフの参加も得て、高齢化に関する新たなレポートの発表会を開催しました。本レポートは、高齢化に関する各国データ・国別のケーススタディから構成され、健康格差の縮小、高齢者の健康増進、人々の繁栄に寄与するための道筋、政策立案・実行に向けた教訓の紹介や提言などが盛り込まれています。



TDLC の動き：「質の高い都市インフラ投資の推進」研修 (@福岡)

TDLC（東京開発ラーニングセンター）では、「質の高い都市インフラ投資の推進」に関する対話型研修（TDD）を行いました。3年ぶりの対面開催となる今回のTDDでは、9か国から33名の政府関係者が参加し、質の高いインフラ原則や環境に配慮した強靱で包摂的な都市インフラ等について学ぶとともに、豊島区役所庁舎（東京都）や山王雨水調整池（福岡市）、国土交通省九州技術事業所（久留米市）を視察し、日本のインフラやその保守運用の取組について理解を深めました。



東京防災ハブの動き：トルコ・シリア大地震

2月6日に発生したトルコ・シリア大地震では、多くの人命が奪われ、何千もの家屋が破壊されました。世界銀行では、既往プロジェクトの振り替えも含め、トルコ向けに**17.8億ドル（約2,300億円）の支援**を表明しました。また、世界銀行が実施した衛星写真等を活用した迅速な被害評価では、トルコの被災額は**GDP比4%（342億ドル：4兆円超）**と推定されており、国際社会との連携強化が求められています。開発を進める上では、レジリエンス（強靱性）の強化が重要です。世界銀行・東京防災ハブでは、引き続き、ハード・ソフト両面から、防災分野の取り組みを強化してまいります。

東京事務所職員紹介



エリオット・ハルシ：国際報道専門官

2023年3月に東京事務所着任。国際報道専門官として、日本議長下のG7に向けて報道機関との連携を担当。着任前は、マルパス総裁の広報担当補佐官として、広報戦略に従事。入行前は、米財務省広報室の緊急対応専門家、ホワイトハウス広報室のリーサー担当アソシエイト・ダイレクターを務めるなど、この10年間に米国政府等の様々な機関での経験を持つ。